



メシアの詩編

シリーズ～詩編～

2015/4/26

詩編 第2編

なにゆえ、国々は騒ぎ立ち
人々はむなしく声をあげること
か。

なにゆえ、地上の王は構え、
支配者は結束して

主に逆らい、主の油注がれた
方に逆らうのか

「我らは、枷をはずし
縄を切つて投げ捨てよう」と。

天を王座とする方は笑い

主は彼らを嘲り

憤つて、恐怖に落とす

怒つて、彼らに宣言される。

「聖なる山シオンで／わたし
は自ら、王を即位させた。」

詩編 第2編

主の定められたところに従つて
わたしは述べよう。主はわたし
に告げられた。

「お前はわたしの子

今日、わたしはお前を生んだ。
求めよ。わたしは国々をお前の
嗣業とし

地の果てまで、

お前の領土とする。

お前は鉄の杖で彼らを打ち

陶工が器を砕くように砕く。」

詩編 第2編

すべての王よ、今や目覚めよ。
地を治める者よ、

諭しを受けよ。

恐れ敬つて、主に仕え

おののきつつ、喜び躍れ。

子に口づけせよ

主の憤りを招き、道を失うこ
とのないように。

主の怒りはまたたくまに燃
え上がる。

いかに幸いなことか

主を避けどころとする人は
すべて。

王の即位式で歌われた歌

なにゆえ、国々は騒ぎ立ち人々はむなしく声をあげるのか。
なにゆえ、地上の王は構え、支配者は結束して主に逆らい、主の油注がれた方に逆らうのか
「我らは、枷をはずし、縄を切って投げ捨てよう」と。

- ソロモン王のために作られた歌？
 - ダビデの作という説もある
- 「主の油注がれた方」
 - 就任式で特別な香油が注がれる
 - 主の霊が賦与されることの象徴
 - ヘブライ語で“メシア”
- 新しい王の誕生を期に、支配から逃れようとする周辺国の王たち
 - 偉大な王であっても交代の時期は攻め込むチャンスだった

主によって立てられる王

天を王座とする方は笑い
主は彼らを嘲り
憤つて、恐怖に落とし
怒つて、彼らに宣言される。
「聖なる山シオンで
わたしは自ら、王を即位させた。」

- 「天を王座とする方」は周辺国の王たちを笑われる
 - 彼らの企みは見え透いていて、徒労に終わることが分かっているから
- 主は彼らを憤り、恐れさせる
 - イスラエルに立ち向かうことは主に立ち向かうことであるから
- イスラエルの王は主が選び任命する
 - 創造主の権威を帯びている

主の,王に対する約束

主の定められたところに従ってわたしは述べよう。主はわたしに告げられた。「お前はわたしの子 今日、わたしはお前を生んだ。求めよ。わたしは国々をお前の嗣業とし地の果てまで、お前の領土とする。お前は鉄の杖で彼らを打ち陶工が器を砕くように砕く。」

- 王は主なる神の子どものような存在である
 - 絶対的な絆で結ばれている
 - 親の思いに従うことが求められる
- 主は王に,領土の安堵・拡大を約束する
 - この世界を造られた方の約束
- 主は王に強さを約束する
 - 撃ち負けることのない武力,いともたやすい勝利

周囲の王たちへの勧め

すべての王よ、今や目覚めよ。地を治める者よ、論しを受けよ。恐れ敬つて、主に仕えおののきつつ、喜び躍れ。子に口づけせよ。主の憤りを招き、道を失うことのないように。

主の怒りはまたたくまに燃え上がる。いかに幸いなことか主を避けどころとする人はすべて。

- 主は支配者たちに悟るよう勧める
 - 徒党を組んで立ち向かっても無駄であるから
- むしろイスラエルの王に恭順し、主に仕えなさい
 - その方が喜びの道である
 - さもないと主の怒りが燃え上がる
- 本当に幸いな選択とは
 - イスラエルの支配下にあることは主を避けどころとすることである

新約聖書における引用

- 初代教会の祈り

- 「あなたの僕であり、また、わたしたちの父であるダビデの口を通し、あなたは聖霊によってこうお告げになりました。『なぜ、異邦人は騒ぎ立ち、諸国の民はむなしいことを企てるのか。地上の王たちはこぞって立ち上がり、指導者たちは団結して、主とそのメシアに逆らう。』事実、この都でヘロデとポンティオ・ピラトは、異邦人やイスラエルの民と一緒にあって、あなたが油を注がれた聖なる僕イエスに逆らいました。」〈使徒4:25-27〉

新約聖書における引用

- ピシディアのアンティオキアでのパウロの説教
 - 「わたしたちも、先祖に与えられた約束について、あなたがたに福音を告げ知らせています。つまり、神はイエスを復活させて、わたしたち子孫のためにその約束を果たしてくださったのです。それは詩編の第二編にも、『あなたはわたしの子、わたしは今日あなたを産んだ』と書いてあるとおりです。」
＜使徒13:32-33＞
- ヘブライ1:5,5:5,黙示録2:27

メシアの詩編

詩編	メシアたち	究極のメシア
なにゆえ、地上の王は構え、支配者は結束して／主に逆らい、 主の油注がれた方に逆らうのか	新しく即位した王に対して、周囲の国々がこれを好機として反旗を翻そうとしている	イエス様を亡き者にしようと祭司長や律法学者たちが結束して立ち向かった
「聖なる山シオンで／わたしは自ら、王を即位させた。」	天地創造の神自らが、神の都で王を任命された	イエス様は罪の力を完全に破壊するために 十字架上で即位された

メシアの詩編

詩 編	メシアたち	究極のメシア
「お前はわたしの子 ／今日、わたしはお 前を生んだ。…わた しは国々をお前の 嗣業とし／地の果て まで、お前の領土と する。	王は「神の子」に等 しいほど神と結ばれ る。父である主の思 いに叶うならば、領 土は広がり、敵に負 かされない	イエス様は父なる 神と一体であった。 復活によって永遠の 王と成られた。クリ ストの国(教会)は 地の果てまで拡大し てゆく
いかに幸いなこと か／主を避けどこ ろとする人はすべて	イスラエルの王に 従うことは天地の 主の祝福に預かる ことである	キリストによって、 全ての人々が主を 避け所とすることが できるようになった

私たちのメシア(王)

敵対

祭司長や律法学者たち(実はサタン)が立ち向かった

即位

罪の力を打ち砕くために、十字架にかかり永遠の王となられた

神の国

メシアが愛によって支配する神の国は地の果てまで拡大する

幸福

民はメシアに従うことで本当の幸いを得る